

(追加募集)「CBDC フォーラム」への応募書式

「CBDC フォーラム」(以下「フォーラム」といいます。)への参加を希望する法人におかれては、下記1. および2. の事項を記入のうえ、下記3. の方法に従ってご提出ください。パイロット実験やフォーラムの概要、選定プロセスの詳細については、『「CBDC フォーラム」への参加説明会資料』(2023年3月16日公表)をご覧ください。

記

1. 基本情報

法人の商号または名称：

本店または主たる事務所の所在地：

法人番号^(注)：

(注) 国税庁ウェブサイト (<https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>) に従い、半角数字でご記入ください。法人番号を付与されていない場合には、空欄でご提出ください。

法人のウェブサイト URL (開設している場合)：

応募にかかる代表者^(注1)・連絡先：

	氏名	部署名・役職	メールアドレス ^(注2)	電話番号
代表者1				
代表者2				

(注1) 役職は問いませんが、フォーラムへの実際の参加を予定される実務者の方を登録頂くことを推奨します（なお、実際に参加者として選定された場合には、ご担当頂くテーマに応じて代表者以外の方を登録することが可能です）。

(注2) 勤務先または所属先から付与されている業務用のメールアドレスをご記入ください。

(注3) ご記入頂きました個人情報、フォーラム参加者の選定を行う目的のみに利用させて頂くとともに、日本銀行「プライバシーポリシー」に基づき適切に管理いたします。

上記1. にかかる記載については、内容に相違ないことを誓います。

2. フォーラムへの参加について

(1) 貢献可能な議論・検討テーマ

＜ご担当頂ける議論・検討テーマの種類＞

- フォーラムにおける議論に貢献可能な議論・検討テーマを選択（複数回答可）してください。

—— 日本銀行では、ここでの選択を基に、CBDC フォーラムでの議論の状況等も踏まえ、ワーキンググループを決定します。対象となる事業者とは事前にご相談したうえで、ここに記載した議論・検討テーマ以外をカバーするワーキンググループに割り振ることがありますので、ご了承ください。

【今回募集を行う議論・検討テーマ】

- 基本的な機能にかかる事務フロー
 - 各種事務フロー（発行・還収、払出・受入、送金はもとより、口座開廃、逆引き送金等の付加的事務も含む）への意見、エンドツーエンドでの事務フローに関する既存事務への影響、その他各種リテール取引運用（異例時対応、窓口業務等）への影響に関する考察
- 現金とCBDCの交換
 - 現金とCBDCの交換方法のあり方（ATMでの交換や窓口での交換を想定した場合の事務フロー、既存の事務や運用の活用可能性等）に関する留意事項の洗い出し、解決策の提案
- エンドポイントデバイス
 - スマートフォンを考慮した場合、CBDCの事務フローや特性を踏まえた、技術面、事務運用面等での留意事項の整理、解決策の提案

- カード型デバイスを考慮した場合、CBDC の事務フローや特性を踏まえた、技術面、事務運用面等での留意事項の整理、解決策の提案
- 店舗決済端末について、CBDC の事務フローや特性を踏まえた、技術面、事務運用面等での留意事項の整理、解決策の提案
- UI/UX (ユーザーインターフェース、ユーザーエクスペリエンス)、アクセシビリティ
 - ウォレットアプリ・店舗決済端末等における UI/UX デザインのあり方に関する提案
 - ご高齢の方や障害をお持ちの方を含むすべての利用者が CBDC を利用しやすくする方策に関する提案 (アクセシビリティ)
- 電子マネー等との交換容易性
 - 既存の民間電子マネー等 (現金・預金以外) と CBDC の交換を行う際の技術面、事務運用面等での留意事項の整理、解決策の提案
- オフライン決済
 - 社会的ニーズと有用性 (ユニバーサルアクセス、レジリエンス、等)
 - 技術的な選択肢の比較 (データモデル、偽造・二重支払い等のリスク、利便性、等)
 - オフライン決済とオンライン決済の連携

(2) 議論・検討テーマに関連した知見・実績等

- (1) で選択した議論・検討テーマに関連した知見・実績等を記入してください。(最大 1,000 字程度)

—— 知見・実績等を示すのに必要な限りにおいて、関連資料（応募者が自ら作成した公表資料か、報道機関や公的機関などの第三者が作成した公表資料かを問いません）を 3 点（合計 10MB 以内）まで添付して提出することが可能です。

<記入欄>

- どの議論・検討テーマを選択したかによらず、CBDC や決済システムに関連した各種会合などへの参加実績や、その他特記事項があれば、ご記入ください
(最大 1,000 字程度)

—— 例：日本銀行主催の中央銀行デジタル通貨に関する連絡協議会、決済の未来フォーラムデジタル通貨分科会、中央銀行デジタル通貨ラウンドテーブル、金融庁主催の金融審議会「資金決済ワーキング・グループ」、その他民間事業者が主催する CBDC・決済関連の会合への常設メンバ・パネリスト・プレゼンタ・モデレータとしての参加の実績など。

<記入欄>

- 上記2. にかかる記載については、内容に相違ないことを誓います。内容確認のため日本銀行から依頼があった場合には、資料の提出を含む追加的な情報の提供に応じます。

3. 提出方法

- 本書式については、PDF に直接ご入力頂けるフォーム形式としています。提出の際には、本書式をダウンロード頂いたうえで、アドビ株式会社が配布している Adobe Reader を用いてフォームに直接ご入力ください。印刷した上での手書きの入力や、word 形式への変換などをご遠慮頂くようお願いいたします。PDF のフォーム形式以外の方法によってご提出頂いた場合には、再提出をお願いさせて頂くことや、有効な応募として扱わないこともありますので、ご承知おきください。
- 記入済みの本書式については、ファイル名を「応募者名（略称可）.pdf」とし、【2023年11月30日（木）12:00】までに、下記メールアドレスに提出してください^(注)。その際、件名は以下のとおりとし、本文は空欄としてください。

(注) 1. に記した代表者2名をメールに含めてください（送信者もしくはCC）。

(提出先アドレス) 日本銀行決済機構局： post.pssd73@boj.or.jp

(件名) CBDC フォーラムへの応募書式の提出 (●●●●)

※「●●●●」は1. で記入頂いた法人名を入れてください。

- 日本銀行では、ご提出頂いた本書式を踏まえて所要の審査を行い、本年12月中を目途に審査結果をご連絡します。その後、順次規約締結作業を行い、来年1月中を目途に参加者の一覧を公表する予定です。審査の過程または結果に関する応募先からのお問い合わせには一切応じかねますので、予めご承知おきください。
- なお、①プロジェクト管理支援・技術コンサルティング等にかかる委託先、②実験用システム構築にかかる委託先、③当初募集において応募された民間事業者の方はご応募いただくことはできません。

—— なお、上記①②の先がフォーラム参加者となることには制限がかかりますが、これ以外のケースについては、「CBDC フォーラム」参加規約への同意を前提として、制限はかかりません。例えば、フォーラム参加者が①②

の先の委託先（日本銀行から見た場合の再委託先）となることや、①②の先の関係会社（親子・兄弟会社）がフォーラム参加者となることに対しては、特段の制約はありません。

以 上